

— 神田っ子から考える都市生活と場。 —

Prof. Yukio NISHIMURA
 Assistant prof. Shin NAKAJIMA
 M2 Charles LAW
 M2 Masahide SHIBUYA
 M1 Takane IMAGAWA
 M1 Keisuke OTSURU
 M1 Yukito KARASAWA
 M1 Akiho HANO

まず「神田っ子」を考える。

2014年度に始まった新規PJ。神田は、大手町エリアに隣接する都心の真ん中に位置しながら、根強くコミュニティが残る。その時まず思い浮かべるのが、神田祭りや老舗といったチャキチャキの「神田っ子」の存在。それら「人」の影響が、神田らしい空間としてどう現れるかを調べようとした。2014年度は第一歩として、人＝「神田っ子」自身について考察を行い、大テーマとして「都心居住を考える」を設定した。



これから

神田における都心居住を、「人」「産業」「空間」の三要素の関係性が絶えず流動することにより生まれる躍動感として捉え、具体的なケーススタディとともに再構築する。

今年のキーワードは、「都市生活」と「場」。PJ 1年目で感じた「神田っ子」の暮らしと、それが営まれる空間・仕組みとの両方を考えることが重要であると認識し、それらを繋ぎ合わせる手がかりを探る。

神田 PJ の 1 年



神田基礎調査

TRANS ARTS TOKYO

今後に向けての議論

キックオフ

まとめ

縁台WS

老舗ツアー主催

小藤田勉強会

神田学会との初顔合わせ

神田学ツアーに有志で参加

神田ルネッサンス(地域誌)に寄稿

第1回

第2回

第3回

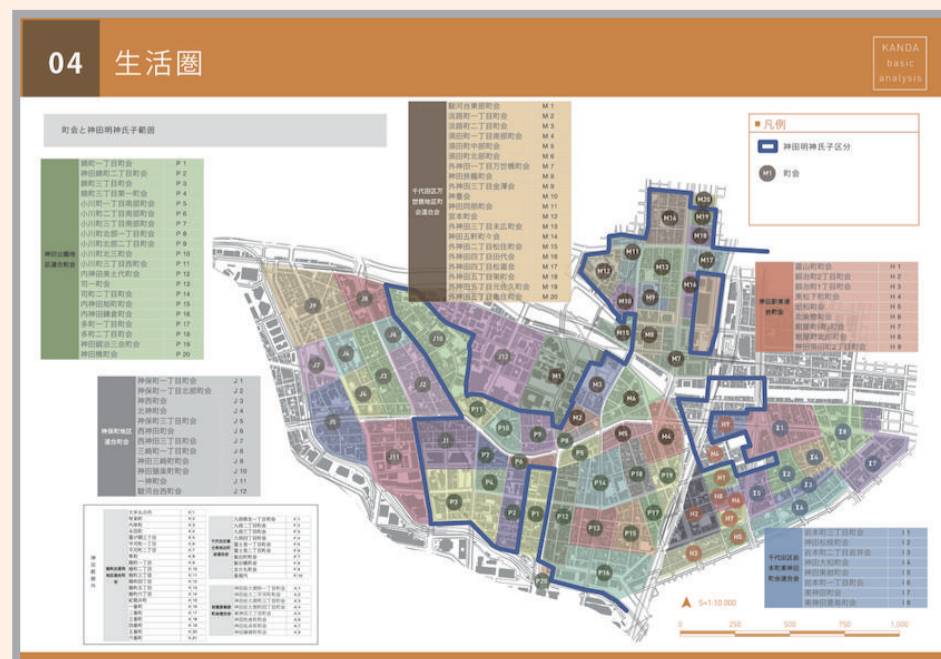
第4回

神田基礎調査

PJの始めに神田の実態を総合的に把握するため、基礎的な分析を行った。旧神田区範囲において、同じ範囲・スケールの共通の図面上に各データをプロットし、比較しやすさを重視したデータブックとした。

- 人口・世帯
- 商業・事業者
- 建物
- 生活圏
- 路地
- 地価
- 建築年代
- 航空写真

基礎調査データシート例



TRANS ARTS TOKYO

PJでは、神田を舞台に3回目の開催となるアートイベントTATに、縁台WSと老舗ツアーの運営として参加した。TATの今年のコンセプトは「神田リビングパーク」。神田PJの大テーマである「都心居住を考える」を実践し、何よりも「神田っ子」の話を実際に聞くきっかけとなった。

縁台WS

今はない路地での会話や行為を誘発することが、神田らしい地縁の再興に繋がるのではないかと考え、狭い路地に合うシンプルさで、組み合わせによりサイドテーブルや立ち呑みテーブルにもなる縁台を提案した。



老舗ツアー主催



神田学会とともに神田の特徴である老舗を巡り、都心居住について知るガイドツアーを企画した。3コースに分かれ、それぞれ4店舗程の老舗を周り、お話を伺った。また老舗の味を少しずつ撚り合わせた『江戸神田百年弁当』を神田更科主人とともに企画し、制作した。

神田の人と

小藤田勉強会

鈴木理生さんの弟子であり、千代田区職員の小藤田正夫さんと、神田の1960年代をベースにゲストを招いて勉強会を行っている。

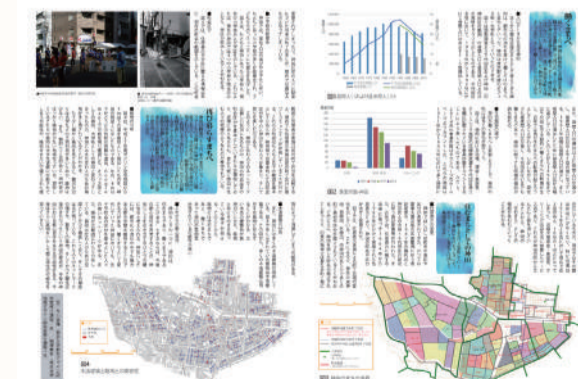


- #1 小藤田さん本人
- #2 後藤禎久さん(建設) 大工について
- 久保金司さん(建設)
- #3 秋山利昭さん(傘屋) 繊維について
- #4 小野さん(テーラー) 繊維について 2



神田学会

神田学会の発行する地域誌「神田ルネッサンス」に、老舗から考える都心居住のあり方について寄稿した。



神田PJでお世話になっている方々



久保金司さん



後藤禎久さん



小藤田正夫さん



伊澤優さん



深澤晃平さん



大津美有貴さん

老舗ツアー訪問店舗

神田錦町更科/松坂象牙店/松栄亭/福尾商店
 カインドウェア/越後屋/天野屋/亀屋大和
 うなぎ久保田/小山弓具/神田淡平/神田亀澤堂
 みますや/明神下神田川本店/田中すだれ店/松屋

江戸神田百年弁当協力店舗

松栄亭(洋風かき揚げ)
 うなぎ久保田(うなぎ蒲焼)
 天野屋(甘酒)/福尾商店(くずもち)
 笹巻けぬき寿司(寿司)/更科(蕎麦)